

「平成 20 年度 春の家畜ふれあいデー」が開催されました

平成 20 年 4 月 26 日（土）、（財）東京都農林水産振興財団青梅庁舎において、科学技術週間の行事として「平成 20 年度 春の家畜ふれあいデー」が開催されました。あいにくの曇り空で、終了時には小雨という肌寒い天候の中、例年よりやや少ないものの約 3,000 名の都民の方に参加頂きました。この催しは東京都酪農業協同組合、JAバンク東京信連との共催で、都の行政機関や生産者の協力のもと開催されたものです。

今年の注目は「搾乳体験車」のお披露目です。これは関東生乳販売連合会が昨年導入したもので、大型車に乳牛と搾乳装置一式を積んだものです。都心の学校などに乳牛を運搬し子供達に乳搾り体験をしてもらいます。時間になると親子が長い列を作り、初めての「温かい」、「大きい」感触に子供達の笑顔と驚きの表情があふれていました。

その他、森永乳業（株）小山浩子管理栄養士による、「ころころ・骨太シリアルボール」作り体験や、ヒヨコ・子豚とのふれあいコーナー、羊の毛刈り体験、さらには「のらぼう菜」の摘み取りを楽しんでいました。また「トウキョウ X」や「東京うこっけい」、酪農家の手作りアイスやヨーグルト、さらには梅ジャム、ゆずジャム、こんにゃくの田楽など都内産の農産物の販売も行われました。

同時開催した都内酪農家の後継者グループ「多摩ホルスタイン改良同志会」主催の乳牛の品評会「ブラック&ホワイトショー」も開催され、一日青梅庁舎は子供達の声でにぎわいました。



搾乳体験車による乳搾り体験



ひよことふれあい



「ころころシリアルボール」作り体験



ブラック&ホワイトショー

10月には「秋の家畜ふれあいデー」を予定しております。お楽しみに!!!

お問い合わせ：（財）東京都農林水産振興財団青梅庁舎

TEL： 0428-31-2171